

ふくし

No.171

令和4年(2022年)10月1日



アマビエふくっぴーで
疫病退散!

習 志 野

「地域サロン」をひらきませんか

地域サロンについて、ふくっぴーが答えます!

Q 「地域サロン」って?



A 住民が住み慣れた地域で孤立せず、安心して生活していける地域づくりのため、歩いて行ける身近な場所で実施している住民の集まる場だよ。

ここでは住民同士の交流や仲間づくりや生きがいがづくり、閉じこもり予防、介護予防などを行なっているんだ。



Q どんなことをしているの?



A 現在、市内には16のサロンがあって体操や歌、おしゃべりなど、サロンごとに趣向を凝らした活動をしているよ。



(袖ヶ浦)いきいき健康サロン

Q 約束ごとはあるの?



A つぎのような約束ごとがあるよ。
・月1回以上、年度内12回は開催すること
・5人以上の集まりであること
・1年間は継続すること
・他団体より助成金をもらっていないこと
・社協支部と連携を図ること
・営利目的ではないこと など



Q 申請や報告の書類が作れるかが不安…。



A 毎年5月に申請書類(申請書兼請求書、名簿、計画書、予算書)、毎年3月に報告書類(報告書、決算書、領収書)を提出してもらう必要があるんだ。

所定の用紙があって、難しい記入はないから、安心して申し込んでみてね!



Q 活動費を助成してくれるの?



A 1サロンにつき年間12,000円(1カ月1,000円×12カ月)を助成しているよ。また、活動中の事故などに対応する保険の加入のお手伝いもしているよ。



【問合せ・申込み】社協 地域福祉課 ☎047(452)4161

1ページから8ページ下には、小・中・高校生から寄せられた「赤い羽根共同募金」の標語が掲載されています。

令和4年(2022年)10月1日発行(年4回/4月1日、7月1日、10月1日、1月1日発行) この広報紙は共同募金の一部によって発行しています。



赤い羽根 みんなの未来 笑顔にする



創設70周年「社協」のあゆみ

「社協」の略称でも知られている社会福祉協議会。

都道府県社会福祉協議会の中央組織として設置されている全国社会福祉協議会(以下、「全社協」という)で紹介されている「社協」のあゆみをシリーズで「ふくし習志野」168号より連載しています。

※全社協「ActionReport」第199号より、以下抜粋し編集しています。

シリーズ④

全社協の誕生から福祉近代化のめばえ

社会事業団体の再編成と全国社会福祉協議会の設立

昭和27(1952)年5月10日付で厚生大臣による認可を経て社会福祉法人全国社会福祉協議会連合会(全社協)となりました

※昭和30年に全国社会福祉協議会と改組

全社協のあらまし

新組織全社協発足を機に、会の事業として従来の調査研究や出版、人材育成等に加えて、都道府県社協との連絡調整、社会福祉施設の連絡並びに育成、社会福祉事業従事者の養成並びに現任訓練、民生委員等奉仕者との連絡並びに育成、中央共同募金委員会との連絡、海外社会福祉事業との連絡など、さまざまな社会福祉の活動主体との連絡調整業務が加わりました。

全社協の主たる事業

(『財団法人中央社会福祉協議会要覧』昭和26年4月)

- (1) 三大大会の開催
全国社会福祉事業大会(現 全国社会福祉大会)、
全国民生委員大会、全国児童福祉大会
- (2) 全国各施設の支援
- (3) 民生委員活動の支援
- (4) 児童福祉活動の支援
- (5) 社会事業従事者の養成・現任者訓練
- (6) 社会福祉事業の周知・徹底 雑誌『社会事業』(現『月刊福祉』)の発行
- (7) 各種調査活動(社会事業研究所)

社協活動の推進と在宅福祉サービスの展開

昭和30年代末から昭和40年代にかけてのわが国の急速な経済成長は、産業構造の変化、都市への人口集中の加速、就労、家族形態の変化をもたらし、これらを背景に福祉ニーズも急速に拡大しました。昭和46(1971)年、国は福祉施設の緊急整備五カ年計画を策定、量的整備を図るとともに、施設種類の細分化により専門性の向上を図るとしました。また、措置(費)制度の下での委託費(公費)の支弁は、民間社会福祉施設の経営の安定化に大きく貢献するところとなりました。しかしながら、オイルショックに端を発する経済状況の悪化により、今後、急速な高齢化が見込まれるなか、増大する要介護高齢者のニーズに対応していくためには、施設福祉中心の施策から高齢者が住み慣れた地域で必要なサービスを受けながら生活し続けることができる在宅福祉サービスの充実、地域福祉の増進が必要との考え方が広まりました。以下、そうした動きに大きな影響を及ぼしたといえる二つの活動を紹介します。



1. 民生委員によるモニター調査活動

全日本民生委員連盟(現 全国民生委員児童委員連合会)と統合した全社協は、同連盟の事業を引き継ぐことになりました。戦後の民生委員活動のなかでも、とりわけ社会的に重要な役割を果たしてきた取り組みに調査活動があげられます。民生委員は、行政から依頼された訪問活動等を実施するだけでなく、自主的に地域住民の生活状況や地域生活課題を把握し、必要となる支援を社会的なしくみとして実現すべく行政等への働きかけを行なうという民生委員ならではの役割が期待されています。

民生委員による調査活動は、地域単位から全国统一調査まで数多く実施されてきましたが、なかでも「社会福祉モニター調査」は全国の委員が一体となって全民児連の提唱に基づいて行なうもので、「モニター」には「社会福祉を注視する」との意味が込められており、見えにくい地域の課題を民生委員であればこそ明らかにすることのできる取り組みであるといえます。

第1回モニター調査として行なわれた昭和43(1968)年実施の「居宅ねたきり老人の実態調査」では、全国13万人(当時)の民生委員が70歳以上の高齢者を訪問調査しました。高齢者人口が増加するなか、自宅で長期間、ねたきり状態にある高齢者が増加していることを受けて調査を行なった結果、70歳以上のねたきり高齢者が20万人以上いることが明らかとなりました。これにより、在宅で生活するねたきり高齢者の厳しい状況が初めて社会に示されるところとなり、その後の在宅福祉施策の展開に大きな影響を及ぼすこととなりました。今日、孤立・孤独は社会的に大きな課題とされており、高齢者等の見守りネットワーク構築等への取り組みが全国的にも進められていますが、すでに昭和40年代末から全国の民生委員と社協の協働による取り組みが行なわれていたのです。



2. 在宅福祉サービスの推進

昭和50(1975)年度から3年間にわたって開催された「在宅福祉サービスのあり方に関する研究委員会」による報告書「在宅福祉サービスの戦略」を昭和54(1979)年に発表、その後の在宅福祉サービスの進展に資するところとなりました。同報告書では、地域福祉活動を(1)在宅福祉サービス、(2)環境改善サービス、(3)組織化活動、に分類し、なかでも「在宅福祉サービス」については、「予防的福祉サービス」、「専門的ケア・サービス」、「在宅ケア・サービス」の三つの側面を示し、社協活動における在宅福祉、地域福祉サービスの体系的な位置づけを示すものとなりました。社会に認識されはじめたばかりの在宅福祉、地域福祉サービスについて、その必要性を喚起するとともに、実践を通じて明らかとなった活動方法、実施体制上の課題を指摘する等、全国各地におけるその後の取り組みの進展に大いに寄与しました。こうした活動にみられるように、在宅

で生活する高齢者の厳しい実情が明らかになるとともに地域福祉の概念と在宅福祉サービスの内容に関する検討、提言が行われたことで、その必要性に対する世論の高まりに加え、市区町村社協の役割やあり方等に関する各種の検討が活発化し、市区町村社協の法制化運動へとつながり、昭和58(1983)年、市区町村社協法制化(社会福祉事業法への明記)が実現しました。



次号に続く





赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします。

期間：10月1日～3月31日

赤い羽根共同募金が、今年も10月1日から全国で一斉に実施されます。

昨年度(令和3年度)に習志野市内でお寄せいただいた募金は、11,217,998円です。
ありがとうございました。

集まった募金は
どのように
使われるの？



皆さまにご協力いただいた赤い羽根共同募金は、募金額の約70%が募金を集めた地元である習志野市内の地域福祉の推進のために使われています。

残りの約30%は、千葉県内の民間の社会福祉施設への助成や、災害ボランティア活動支援などに使われています。



● 習志野市内での主な募金の使いみち ●

習志野市社協では、皆さまからの募金で、下記の事業を原則無料で実施しています。
(一部の事業では、ご利用者負担があります。)



● ボランティア活動に…
福祉車輛の運行



● 高齢者や障がい者の権利擁護のために…
福祉サービス利用援助事業の運営



● 心配ごと相談に…
心配ごと相談所の運営

● 福祉のPRに…
広報紙「ふくし習志野」の発行、
社協掲示板の設置・修理

● 地域交流のために…
地域福祉活動スペース
「ふくっぴーファミリーサロン」の運営

● 高齢者福祉のために…
習志野市あじさいクラブ連合会の活動支援

歳末たすけあい募金にご協力をお願いします。

期間：12月1日～12月31日

歳末たすけあい募金は、共同募金の一環として行なわれます。

昨年度(令和3年度)に習志野市内でお寄せいただいた募金は、7,303,117円です。
ありがとうございました。

歳末たすけあい募金は、**全額を習志野市内の地域福祉に使わせていただきます。**



● ひとり暮らし高齢者
食事サービス
お弁当のお届けを通じて「ふれあい・見守り活動」を行なっています。

● 福祉団体、当事者団体、
ボランティア団体等への支援

● 広報紙「ふくし習志野」の発行



地域福祉へのご寄付ありがとうございました

令和4年5月1日～7月31日(敬称略)

金銭寄付

坂中孝典 田久保美津子 林節子 村上美津子
株式会社エステート・ラボ 吟亮流千葉吟風会 吟亮流千葉吟風会詩吟の集い福祉募金
手芸ボランティア 習志野市芸術文化協会

令和4年4月1日から令和5年2月末日までに一般会費・特別会費・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただいた方のお名前は、令和5年4月1日号に掲載します。



あなたの思い 赤い羽根にのせて より良い町への第一歩

わくわく夏ボラ2022を開催しました!

7月22日(金)に、総合福祉センター2階いずみの家で夏休みのボランティア体験「わくわく夏ボラ2022」を開催しました。小学生から高校生までの40名が参加し、「**高齢者擬似体験**」を行いました。

体験は、高齢者役とその介助者役に分かれて行ないます。高齢者役は白内障眼鏡・手首おもり・イヤーマフ・手袋などを装着し、体に負荷をかけた状態で日常の動作をすることにより「どう感じるか」、介助者役は「どのようにサポートするか」考えてもらうことが目的です。

学校や学年が違う参加者が班ごとに分かれて体験する中で、高校生がまとめ役として活躍し、時間が経つにつれて自然と打ち解け、楽しく体験することができました。

参加者の感想

- ・めっちゃ大変!いつも大変だったんだな(小6)
- ・お金を出すときに、大きいお金で支払ってしまう気持ちがよくわかった(高3)
- ・バイト先で高齢者と関わる時に、これからはもっと気を配って対応したいと思った(高3)
- ・すべて代わりにやってあげるのではなく、できないことをサポートしたいと思った。(高3)

～ 高齢者擬似体験セットの貸し出しを行っております。詳しくはお問合せください～

問合せ 社協 ボランティア・市民活動センター ☎047(451)7899

白内障メガネ

白内障による色覚変化とぼやけて見える状態、加齢による視野の狭さや薄暗さを体験します。

肘サポーター・重り

加齢による関節の動きにくさと筋力の衰えを体験します。



イヤーマフ

老人性難聴の特有の高音域の聞き取りにくさを体験します。

高齢者擬似体験スタイル

紙コップに飲み物を注いでみよう!



色や香りを感ずることができないと、味も変わってくるのかな?

両手で持たないとしっかり持たないね。

財布からお金を払ってみよう!



小銭を取り出すのが大変…つい、おれで払いたくなる

広告

ポータブル蓄電池 (非常用電源機器) お試し出来ます!



災害時等の非常用電源確保のため、ポータブル蓄電池が注目されています。

介護をしているご家庭では、電動ベッドやエアマットのほか、酸素濃縮器やたん吸引器などの機器を利用している事も多く、停電が発生すると、とても不安で困った事となります。当社が提案するポータブル蓄電池は、50名以上のお客様のご意見を伺った中で見つかった機種となり、はっきりと自信をもっておすすめ出来ます。ご興味のある方は、実際の機種を数日お試しすることが可能ですので、お気軽にお問合せ下さいね!

介護用品レンタルを利用する際に気を付けたい「3つのポイント」とは?

Point 1 **介護を効率的にするうえで適切なものか**

Point 2 **利用者本人のニーズに合ったものか**

Point 3 **殺菌などの衛生面は大丈夫か**

介護用品のレンタル・販売

モナーケア Q で検索



電動介護ベッド

介護保険利用

月々のレンタル料 800円～



軽量型車いす

介護保険利用

月々のレンタル料 400円～



歩行器

介護保険利用

月々のレンタル料 300円～

モナーケアでは、適切な介護用品を提案することによって、ご利用者本人・介護者がともに快適な暮らしができるようお手伝いします。「思いやりとやさしさは、どこにも負けません」がモットーです!

介護用品 住宅改修
モナーケア

お気軽にお問合せください!!



即日納品可! 土日納品可! TEL.0120-079-315



赤い羽根 小さな気持ちで 大きな笑顔

綿の古着
寄付してみませんか。



自宅で不要になった綿の古着が
「工業用ウエス」に生まれ変わります。

～印西市にお住いの金沢紀子さんから情報提供をいただきました～

金沢さんは、普段おしゃれな車イスと自家用車でどこへでも出かけていきます。

『体を使つての支援は難しくお金も無い私だけ、私にだって長く支援できる何かがあるんだよ!』って、出来る事をずっと探していたそうです。

そんな時に会ったのが「NPO法人 ワークショップあいあい」の活動です。いともたつてもいられず愛車で活動先に出向き、法人代表の豊田さんに詳しいお話を伺いながら、福祉作業所で働いている方の作業の様子を見学しました。

『福祉作業所で働いている人たちの給料は本当に寂しくて、作業所も大変厳しい中で奮闘しています。皆さんの手放す不要衣類が彼らの生活の糧になります。送料はかかっちゃうけどそれは応援代。小名浜に行くことができない皆さまにもできることがあります。』

ワークショップあいあい

福島県に20年前から「工業用ウエス」の製造販売をしている「ワークショップあいあい」があります。「あいあい」では、さまざまな障がいがある人が技術を磨きながら、ウエス作りに励んでいます。ウエスとは、ボタン・タグ・チャックを取り除いた綿の古着などを裁断した布地で、工場の機械の油汚れを拭くのに使われています。自動車整備工場や鉄工所・精密加工工場などでも使われています。近年は、化学繊維の衣類が増えて綿の古着が減少しているそうです。

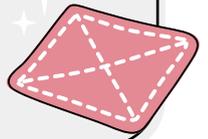
◎集めている古着：綿衣類（ワイシャツ・Tシャツ・ポロシャツ・シャツ・タオルなど）

※綿 35%以上 ※ボタンやファスナーは付いたままでOK

◎送り方：段ボールが無い場合、紙袋&ガムテープ梱包もOK
※送料は寄付者のご負担となります。

問合せ・送付先

NPO法人 ワークショップあいあい 〒971-8101 福島県いわき市小名浜字下町8
☎0246(52)2522（月～金 午前10時～午後3時45分） E-mail:toyoda.etuko@topaz.plala.or.jp



社協支部活動紹介

駄菓子屋 ふーちゃん

藤崎支部では、数年前から支部のメンバーで「いつか、地域で駄菓子屋をやりたいね」という話をしていました。地域の方からの協力もあって、ついに今年の5月から「駄菓子屋 ふーちゃん」の活動をスタートさせました。

キャッシュレスの時代にはなりませんが、「地域の子どもたちに、会話をしながら現金で駄菓子を買う経験をしてほしい!」という思いで運営しています。

藤崎支部長の野田さんは、「たくさんの方の協力を得て、やっと駄菓子屋さんをオープンさせることができました。オープン初日は、予想以上の250名の方にご参加いただき、私も参加してよいのかしら…と、ご高齢の方までいらしてください、とても嬉しかったです。大人も子どもも、どなたでも気軽に遊びに来てください。この駄菓子屋ふーちゃんが、地域の交流の場になればとても嬉しいです。」と話してくれました。

お店は組み立て式のリヤカーを利用し、どこにでも移動することができるようになっています。駄菓子を陳列する台は、ボランティアさんがリヤカーに合わせて手作りしてくださったそう。紙芝居屋さんが来てくれる日もあるようです。駄菓子屋ふーちゃんは、地域の方の協力を得ながら、今後も月1回開催していきます。



たくさんの方が楽しみに待っていてくれました!



大人にも懐かしいお菓子がずらり。

あと50円
残ってるから、
これも買えるかな?

令和4年度開催予定

場所：藤崎よいとこ館

日付	時間
10/15(土)	午前10時30分 ～11時30分
11/12(土) 12/10(土) 1/14(土) 2/18(土) 3/11(土)	午後2時 ～3時30分
1/24(火)	午後2時30分 ～3時30分

※新型コロナウイルス感染の状況などにより、変更・中止する場合があります。

藤崎支部

場所：藤崎よいとこ館
(藤崎4-14-34)

開所日時：毎週火・木・土
午前10時～午後4時

※新型コロナウイルスの影響により、変更する場合があります。

問合せ：☎047(471)5559



第25回

さくらまつり

3年ぶりの
開催です♪

～サークル活動の発表会～

日時:11月8日(火)～12日(土) 午前9時～午後4時まで

老人福祉センターさくらの家で活動しているサークルが、日頃の活動の成果を発表します。
当日はどなたでもご来館いただけます。ぜひお越しください♪

マスクの着用、来館時の検温・手指消毒にご協力をお願いいたします

展示サークル

編物、絵手紙、写真、書道、パッチワーク

※手芸ボランティア、花の実園による展示・販売も予定しています。



発表サークル

多目的ホール	11月8日(火)	9時45分～	オープニングセレモニー
		終了後	社交ダンス
	11月9日(水)	午前	フラダンス
		午後	コーラス
	11月10日(木)	午前	カラオケ
		午後	太極拳
11月11日(金)		茶道	
11月12日(土)	午前	フォークダンス	
福祉交流広場	11月 8日(火) 10日(木)	午前	グランドゴルフ



混雑を避けるため、1日に発表を行なうサークルを2つまでとし、**客数を制限しております。**

定員を超える場合は入場制限を行なうことがあります。

※新型コロナウイルスの影響により、変更する場合があります。

ご注意ください!

前日準備を含む11月7日(月)から12日(土)までは、
さくらの家の一般利用はできません。

※各サークルの発表時間など詳細につきましては、さくらの家にお問合せください。

さくらの家 ☎047(451)3566



あなたのこころ みんなにつたわる あたたかさ

掲示板

さくらの家講座 しなやか体操

参加者募集

インストラクター指導のもと、リズムに合わせて体を動かしませんか♪
楽しく無理なく、健康づくりしましょう。

日時 10月22日(土)・29日(土) 全2回
午後2時～3時30分(2日間とも)
会場 老人福祉センターさくらの家 多目的ホール
対象 市内在住60歳以上の方で2日間とも参加できる方
定員 20名(先着順)
参加費 無料
申込期間 10月1日(土)から(定員になり次第終了)
受付時間 月～土曜(午前9時～午後4時)

【申込・問合せ】老人福祉センター さくらの家 ☎047(451)3566

「習志野市運転ボランティアの会」主催 運転ボランティア講習会

参加者募集

車イスのまま乗車できる福祉車両を運転し、
公共の交通機関では外出困難な方を病院や施設等に送迎するボランティア活動です。

運転ボランティアの活動に関心のある方ならどなたでも歓迎です。



日時 11月26日(土)
午前9時30分～午後0時30分(受付午前9時～)
会場 総合福祉センター2階 いずみの家「研修室」ほか
内容 福祉車両の操作と安全運転の体験、車イスの操作 など
対象 運転ボランティアに興味がある方
(運転定年年齢は満75歳となる日の前日とさせていただきます)
持ち物 運転免許証、筆記用具、動きやすい服装
主催 習志野市運転ボランティアの会
定員 8名(先着順)
申込期間 10月4日(火)～11月22日(火)

【申込・問合せ】社協 ボランティア・市民活動センター ☎047(451)7899

スズキ ガルピッタン アワード 第16回 Suzuki Garphyttan Award (日鉄SGワイヤ地域社会貢献賞)

地域のボランティア活動を企業が応援しています!

活動援助資金 団体30万円 個人10万円

Suzuki Garphyttan Award(地域社会貢献賞)は、日鉄SGワイヤ(株)(旧社名 鈴木金属工業(株))が、平成20年に創立70周年を記念して地域ボランティア活動の発展に寄与することを目的に創設しました。

応募者募集

社会福祉協議会では、地域福祉推進を図るために市内で社会貢献活動をしている団体または個人を公募のうえ、選考委員会で1団体または1個人を選考します。募集要項は社協ホームページにも掲載しています。

申込期間 令和5年1月1日(日)から1月31日(火)まで

個人での応募もお待ちしています。

【申込・問合せ】
社協 企画総務課 ☎047(452)4161



「門松カード全戸配布」の終了について

社協では、『ふくし習志野 令和4年4月1日号』でお知らせしましたとおり、町会・自治会を通じての「門松カードの全戸配布」を終了させていただくことになりました。

全戸配布は終了させていただくことになりましたが、門松カードの利用を希望される方は、下記のいずれかの方法でご利用いただけますのでご活用ください。

①社協ホームページから、門松カードおよびしめ飾りのデータがダウンロードできます。
印刷してご利用ください。

②ローソン、ファミリーマートのマルチコピー機で、印刷してご利用ください。

印刷代 A4コピー用紙1枚(門松1対またはしめ飾り) 普通紙カラー 60円

(※)上記①②のいずれの利用も難しい方は、社協へお問合せください。
社協で印刷したものを、有料でお渡しいたします。

印刷代 A4コピー用紙1枚(門松1対またはしめ飾り) 普通紙カラー 50円

問合せ期間 令和4年11月4日(金)～12月16日(金)まで

※お渡しまでは1週間程度かかりますので、ご了承ください。

門松カードは、いずれもA4サイズ1枚に、門松カード左右1対(2枚)が印刷されます。半分に切って、ご利用ください。



詳細はこちらをご覧ください

【問合せ】社協 地域福祉課 ☎047(452)4161

ふくっぴーワイズ



Q 問題だよ!

『駄菓子屋 ふーちゃん』はどこで開催されるでしょうか?

①習志野市役所 ②総合福祉センター ③藤崎よとこ館

答え 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を書いてハガキ、FAX、Eメールのいずれかで10月31日(月)(消印有効)までに応募してね。

正解者のうち抽選で3名様に、『特製図書カード』をプレゼント!正解は「ふくし習志野」1月1日号で発表するよ。

なお、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

前号の問題と正解

総合福祉センター2階に登場した「ガチャ募金」は1回①100円です。

- 企画総務課・地域福祉課 ☎047(452)4161
- ボランティア・市民活動センター ☎047(451)7899
- ボランティア情報24時間テレホンサービス ☎047(452)3999
- 老人福祉センターさくらの家 ☎047(451)3566

HP <http://www.nashakyo.jp/>

習志野市社協 検索

E-Mail info@nashakyo.jp



【ホームページ】



【フェイスブック】

編集発行 社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会
〒275-0025 習志野市秋津3-4-1 総合福祉センター内
電話: 047(452)4161(代) FAX: 047(451)8211

